

■（146）選挙報道の「金字塔」写真 ——買収用の5千円札がばっちり

朝日新聞社内で金字塔のように語り継がれる選挙違反報道の写真がある。1975年の統一地方選挙で、舞台は山梨県。畳の上に5千円札。名前を書いたメモ用紙で束ねられている。添えた記事は「票まとめの最後の決めては『札ビラ』…」。買収行為の瞬間だった。

山梨と同様に選挙の激しい土地柄として有名なのが、鹿児島・徳之島。そこを拠点とする病院グループは衆院議員の支持母体で、去年の総選挙をめぐる違反捜査が進行中だ。島では、1991年の町長選で、不在者投票が無効か有効かをめぐり混乱。不満を爆発させた側の支持者が一斉に開票所に向けて投石した。窓ガラスは割れ、けが人もでた。候補者の1人はグループ前理事長派。病院内では、「入院中」の選挙管理委員長が不正投票に関与したとして警察に逮捕された。4年前の総選挙でも、職員が入院患者の名前を勝手に使って不正投票したとして逮捕されている。そのため、今回も「またか」「やはり」と受け止めた。

「裏選対」。選挙取材でよく耳にする言葉だ。公式な陣営の選挙対策本部ではなく、陰の作戦本部を指す。それが病院なのか……。山梨の写真のように、報道も実態に迫れるか。(山)